

令和3年度事業報告書

公益財団法人 日本美術院

I 事業の状況

1. 美術に関する調査研究、管理保存及び活用して広く一般公衆の用に供する事業

(1) 美術の研究及び調査事業

令和3年度は、同人による日本画の研究発表として第76回春の院展に33名及び再興第106回院展に32名の作品を展示した。

(2) 研究所並びに資料等の管理保存及び活用、並びに公開と美術に関する図書の刊行事業

①令和3年度は、再興第106回院展、第76回春の院展の表紙絵の寄附を受け入れた。

②蔵書目録については、令和3年度の追加図書の基本データの入力を終了した。

③画像データの作成 再興第106回院展297点、第76回春の院展342点

④画像データの貸出 167件(415点)

⑤所蔵資料の公開及び貸出

令和3年度は新型コロナウイルス感染のため予定した展覧会が開催されず貸し出しは無かった。

⑥岡倉天心資料撮影 130件

⑦図書の寄贈

第76回春の院展及び再興第106回院展全作品集を全国の日本画に関係する国公立美術館・大学図書館(103か所)に寄贈した。

(3) 美術に関する研究会、講演会等の開催事業

①研究会参加者の作品に対する同人の批評・指導を行ったが、そのうち本院を会場として開催したものは、次のとおりである。

令和3年： 6月19日(土)42名、6月20日(日)10名、6月25日(金)8名、6月30日(水)26名
8月3日(火)5名、8月4日(水)15名、8月5日(木)15名、8月9日(月・祝)6名
12月18日(土)14名、12月22日(水)9名、

令和4年： 1月9日(日)12名、1月12日(水)23名、1月16日(日)32名、1月22日(土)25名
2月22日(火)22名、2月27日(日)14名、3月1日(火)10名、
今年度合計(17回：288名) 前年度(17回：195名)

②巡回展における研究会及び講習会

熊本講習会： 令和4年1月20日(木)50名(受講者20名、聴講者30名)
今年度合計(1回：50名) 前年度(1回：43名)

③地域連携教育プログラム

【計12件】

- ◇令和3年5月26日(水) 岩絵具と膠で日本画を描こう 敷島小学校(参加者24名)「絵画指導」
- ◇令和3年7月8日(木) 台東区学びのキャンパスプランニング 千束小学校(参加者32名)「絵画指導」
- ◇令和3年10月14日(木) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」大高小学校(参加者99名)「絵画指導」
- ◇令和3年10月15日(金) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」大高小学校(参加者63名)「絵画指導」
- ◇令和3年11月14日(日) 金箔を使って好きな絵を描こう 瀬戸内市立美術館(参加者13名)「絵画指導」
- ◇令和3年11月19日(金) 岩絵具の具と膠で日本画を描こう 伊吹山中学校(参加者153名)「絵画指導」
- ◇令和3年11月22日(月) 岩絵具の具と膠で日本画を描こう 伊吹山中学校(参加者150名)「絵画指導」
- ◇令和3年11月25日(木) 台東区学びのキャンパスプランニング 蔵前小学校(参加者74名)「絵画指導」
- ◇令和3年12月9日(木) ワークショップ 横浜市聖ヨゼフ学園(参加者63名)「絵画指導」
- ◇令和3年12月14日(火) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷小学校(参加者52名)「絵画指導」
- ◇令和3年12月15日(水) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷小学校(参加者53名)「絵画指導」
- ◇令和3年12月21日(火) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷小学校(参加者16名)「絵画指導」

2. 全国に展示する日本画の公募展覧会の開催及び日本美術院に関係する作品を国内外へ紹介し、美術の交流を図る事業

(1)第76回春の院展

令和3年3月24日(水)から4月5日(月)まで日本橋三越において開催し、引続き巡回展を名古屋、京都、秋田、仙台、福井、倉敷、横浜、福岡、島根、神戸、新潟、広島、栃木、千葉の15会場で延158日間開催した。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、大阪の1会場は中止となった。

総入場者数は66,365名(前回比34,309名増)であった。

詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した作品は、次のとおりである。

応募作品点数	701点 (前回 725点)
応募人員	693名 (" 721名)
入選作品数	309点 (" 308点)
内 無鑑査	15点 (" 17点)
初入選	33点 (" 34点)
同人出品点数	33点 (" 35点)
出品総数	342点 (" 343点)

巡回展には、同人作品33点、受賞作品16点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおり。

◇春季展賞(郁夫賞)

『序奏』 吉村 佳洋 以上1名

◇春季展賞

『彼岸の雫』 永吉 秀司 以上1名

◇外務大臣賞

『ユナシリタの予想』 平林 貴宏 以上1名

◇奨励賞

『ユナシリタの予想』	平林 貴宏	『料理店』	松岡 歩
『光の森』	重里 香	『water world』	岩永 てるみ
『記憶の音』	鈴木 恵麻	『剣』	松浦 主税
『浮游』	鹿間 麻衣	『時』	白井 進
『Snow Window』	山浦 めぐみ	『野薔薇』	吉田 圭一郎
『花信風』	松村 侑紀	『白露』	守 みどり
『休日』	小針 あすか	『葉の音』	森 友紀恵
			以上14名

授賞式は、3月24日(水)午後3時から日本橋三越本店7階特別食堂「不二の間」において、外務大臣政務官鈴木隼人氏他外務省関係者の臨席を得、田淵理事長より春季展賞及び奨励賞を、外務大臣政務官鈴木隼人氏より外務大臣賞を授与した。

記念レセプションは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

第76回春の院展の実績は次のとおりであり、無事終了した。

区分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
東京展	令和3年 3月24日(水)～ 4月 5日(月)	13日	342点	11,731名	902名	三越日本橋本店
名古屋展	" 4月10日(土)～ 4月18日(日)	9日	127点	9,947名	1,105名	名古屋松坂屋美術館
京都展	" 4月21日(水)～ 4月24日(土)	4日	120点	3,515名	878名	高島屋京都店
秋田展	" 4月30日(金)～ 5月 9日(日)	10日	132点	2,447名	244名	名古屋松坂屋美術館
仙台展	" 5月12日(水)～ 5月17日(月)	6日	120点	2,217名	369名	仙台三越
福井展	" 5月21日(金)～ 5月30日(日)	10日	97点	4,702名	470名	西武福井店
倉敷展	" 7月 3日(土)～ 7月11日(日)	9日	104点	2,303名	255名	倉敷市立美術館
横浜展	" 7月16日(金)～ 7月25日(日)	10日	184点	6,362名	636名	そごう美術館
福岡展	" 8月 6日(金)～ 8月11日(水)	6日	100点	946名	157名	福岡三越
島根展	" 8月21日(土)～ 9月 5日(日)	16日	145点	4,383名	273名	足立美術館
神戸展	" 9月 8日(水)～ 9月13日(月)	6日	140点	1,208名	201名	神戸阪急
新潟展	" 9月22日(水)～ 9月27日(月)	6日	130点	4,527名	754名	新潟伊勢丹
広島展	" 10月 1日(金)～10月11日(月)	11日	180点	6,196名	563名	そごう広島店
栃木展	" 10月16日(土)～11月23日(火・祝)	32日	90点	3,814名	119名	さくら市ミュージアム
千葉展	令和4年 1月21日(金)～ 1月30日(日)	10日	80点	2,067名	206名	そごう千葉店
計		158日	延2,091点	66,365名	420名	15会場
前回計	令和2年3月25日(水)～令和3年1月31日(日)	107日	延1,163点	32,056名	299名	8会場

(2)再興第105回日本美術院展覧会(院展)

令和2年9月1日(火)から開催した再興第105回院展は、令和3年2月6日(土)開催の横浜展までの詳細について、令和2年度事業報告書に報告済みであるが、残り3会場であった北九州展、島根(西)展、福井展については本年度となるためここに記載する。

区分	会期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会場
北九州展	令和3年4月21日(水)～5月11日(火)	19日	62点	3,036名	159名	北九州市立美術館
島根(西)展	" 5月22日(土)～6月13日(日)	23日	66点	2,837名	123名	今井美術館
福井展	" 6月18日(金)～7月4日(日)	17日	80点	2,671名	157名	福井県立美術館

(3)再興第106回日本美術院展覧会(院展)

令和3年9月1日(水)から9月17日(金)まで16日間(9月6日(月)休館)、東京都美術館において開催し、引続き巡回展を京都、島根(東)、名古屋、金沢、岡山、広島に7会場で延96日間、入場者総数66,917名を数えた。なお、横浜、北九州、島根(西)展を残している。詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した点数は、次のとおりである。

応募作品点数	427点 (前回 388点)
応募人員	425名 (" 385名)
入選作品数	265点 (" 269点)
内 無鑑査	16点 (" 18点)
初入選	23点 (" 20点)
同人出品点数	32点 (" 30点)
出品総数	297点 (" 299点)

巡回展には、同人作品32点、受賞作品17点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおりである。

◇内閣総理大臣賞	『循環』	同人	村岡 貴美男
◇文部科学大臣賞	『風の称号』	同人	北田 克己
◇東京都知事賞	『葦間』	加藤 厚	
◇日本美術院賞(大観賞)			
	『葦間』	加藤 厚	
	『サンサシオン』	西岡 悠妃	以上2名

◇奨励賞

『Droplet』	山浦 めぐみ	『はなむけ』	坂根 輝美
『ユナシリタの予型』	平林 貴宏	『光函』	守 みどり
『Time』	伊勢 淳	『帆風』	松村 公太
『神鳴り』	松村 侑紀	『春秋』	大島 婦美枝
『光陰』	鈴木 恵麻	『涙も積む』	牧野 環
『日の御綱』	川崎 麻央	『井の頭(5)一来迎一』	樋田 礼子
『北しぶき』	谷 善徳	『時を紡ぐ』	柏谷 明美
『白雨』	河本 真里		

以上15名

授賞式は、9月1日(水)午後3時から上野精養軒において、来賓として文化庁都倉俊一長官をはじめ、奨励賞賞金用にご寄附いただいている(株)三越伊勢丹細谷敏幸社長、(株)高島屋社長村田善郎、(株)大丸松坂屋澤田太郎社長他9名を迎え開催した。

授賞は、内閣総理大臣賞及び文部科学大臣賞を都倉俊一文化庁長官より、日本美術院賞及び奨励賞を田淵理事長より授与した。

次いで、奨学金及び推挙状の授与を田淵理事長より以下のとおり授与した。

記念レセプションは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

◇第40回日本美術院奨学金の授与(各50万円) 吉村 佳洋、永吉秀司

◇推挙状の授与(令和3年9月1日)

①特待推挙

吉家 研二(熊本)	竹内 滋祇(神奈川)	田中 百合子(新潟)	
西岡 一義(佐賀)	加藤 厚(愛知)	速水 敬一郎(埼玉)	
齋藤 勝正(福島)	山浦 めぐみ(広島)	川崎 麻央(東京)	以上9名

②院友推挙

鈴木 ひろ子(山形)	真下 みや子(山形)	宇城 翔子(愛知)
松竹 幸子(長崎)	山本 志帆(広島)	鳥巢 崇(福岡)
池上 望月(広島)	永田 美里(広島)	近藤 守(埼玉)
竹内 唯可(神奈川)	瀬戸口 祐佳(広島)	土肥 彩(千葉)
木崎 理菜(福岡)	佐藤 佑(神奈川)	鈴木 博稀(愛知)
馬場 蘭花(静岡)	勝又 優(千葉)	張 彬文(東京)

以上18名

③研究会員推挙

<令和2年10月21日付>

山越 啓三(京都)	堀田 美友貴(愛知)	吉田 奈保子(広島)
門名 舜也(石川)		

以上4名

<令和3年2月17日付>

中野 貴文(東京)	片塩 広子(東京)
-----------	-----------

以上2名

<令和3年6月18日付>

工藤 悦子(愛知)	小野田 優子(静岡)	林 信吾(千葉)
浅野 春雄(大阪)	増田 幸子(東京)	長谷川 知美(神奈川)
齊藤 恵子(富山)	林 順子(広島)	相澤 喜美子(大阪)
佐野 智恵子(岐阜)	松下 紅葉(石川)	戴 琳(愛知)
王 冠賢(愛知)	久松 雅枝(長崎)	玉津 鈴美(千葉)
海野 稔子(愛知)	松川 華子(広島)	松浦 恵子(群馬)
齋藤 三紀(愛知)	安立 裕子(愛知)	寺田 篤正(静岡)
奥田 詠子(群馬)	白倉 正樹(埼玉)	

以上23名

再興第106回院展各会場の実績は、次のとおりである。ただし、広島展までの7会場であり、残り3会場の横浜展、北九州展、島根(西)展は令和4年度になる。

区分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
東京展	令和3年 9月 1日(水)～ 9月17日(金)	16日	297点	11,806名	737名	東京都美術館
京都展	" 9月28日(火)～10月 3日(日)	6日	87点	1,773名	295名	京都市京セラ美術館
島根(東)展	" 10月 9日(土)～10月31日(日)	23日	90点	18,545名	806名	足立美術館
名古屋展	" 11月27日(土)～12月 5日(日)	9日	113点	10,481名	1,164名	松坂屋美術館
金沢展	" 12月 9日(木)～12月22日(水)	14日	101点	5,500名	392名	石川県立美術館
岡山展	令和4年 1月 2日(日)～ 1月16日(日)	15日	57点	9,019名	601名	岡山市・天満屋
広島展	" 1月20日(木)～ 2月 1日(火)	13日	86点	9,793名	753名	広島市・福屋
計		96日	延831点	66,917名	697名	7会場
前回計	令和2年9月1日(火)～令和3年3月14日(日)	121日	延825点	104,446名	863名	7会場

(4) 日本画を手元において観て楽しむ文化の普及を図るため、図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの販売。令和3年度における図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの売り上げ部数は、次のとおりである。

第76回春の院展図録 : 2, 516部

再興第106回院展図録 : 1, 756部

絵葉書 : 35, 321枚 一筆箋 : 1, 185部 クリアファイル : 652部

3. 日本画の分野における若手芸術家の育成活動に対する助成事業

第40回日本美術院奨学金は、選考委員会において吉村佳洋氏及び永吉秀司氏を選考し理事会で決定した。

なお、授賞式は令和3年9月1日(水)午後3時より上野精養軒において行われ、田淵理事長から授与した。

Ⅱ 処務の概要

1. 役員等に関する事項

令和4年3月31日現在

	氏名	就任年月日	手当	現職等	担当職務
代表理事	田 淵 俊 夫	H28.6.10	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	業務の総理 法人代表
〃	那波多目功一	H28.8.21	無	日本芸術院会員 日本美術院同人	業務の総理 法人代表
業務執行理事	手塚 雄 二	H28.8.21	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	日常一般業務
理事	下 田 義 寛	H26.6.6	無	倉敷芸術科学大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	梅 原 幸 雄	R3.6.18	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	西 田 俊 英	H28.12.7	無	武蔵野美術大学教授 日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	松 村 公 嗣	H24.5.25	無	愛知県立芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
監 事	小 山 硬	H23.4.1	無	愛知県立芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	西 巻 茂	H23.4.1	無	税理士	
評議員	真 室 佳 武	H23.4.1	無	鎌倉市鏑木清方記念美術館長	
〃	草 薙 奈 津 子	H23.4.1	無	平塚市美術館長	
〃	佐 藤 道 信	H23.4.1	無	東京芸術大学教授	
〃	伊 藤 欣 哉	H24.12.4	無	日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	福王寺 一 彦	H29.4.12	無	日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	大 矢 紀	H29.4.12	無	日本美術院同人	
〃	倉 島 重 友	R3.6.18	無	広島市立大学名誉教授、 日本美術院同人	

※氏名は本名を記す。

2. 職員に関する事項

令和4年3月31日現在

職名	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	忠 利 二	平成28年 7月 1日	事務の総括	令和2年7月1日事務局長
資料室長	和 田 真理子	平成12年 1月 1日	資料の管理、庶務事務	
事業課長	吉 村 泉 里	平成29年 5月16日	院展の業務、経理事務	令和3年7月1日事業課長

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

①令和3年6月5日 ○令和3年度 第1回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
- 令和2年度事業報告書及び決算書について
 - 第40回日本美術院奨学金受給者の決定について
 - 理事候補者の推薦及び評議員補欠候補者の推薦について
 - 評議員選定委員(外部委員)の選任について
 - 宮廻正明同人の処分解除について
 - 前田青邨顕彰中村奨学会の解散に伴う残余財産令の帰属について
 - 運営会議の検討事項について

報告事項 : 1. 第76回春の院展大阪展の中止について
2. 第10回中村賞奨学金受給者選考結果について
3. 第76回春の院展東京展の終了報告について
4. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
出席等 : 決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名、監事出席1名

③令和3年8月18日 ○令和3年度 第2回理事会
開催場所 : 東京都美術館地下3階審査室
議事事項 : 1. 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞の選考について
2. 東京都知事賞、日本美術院賞、奨励賞の選考について
3. 入選・受賞等による招待、特待、院友の推挙について
出席等 : 決議に必要な出席理事の数5名、出席6名、欠席2名

⑤令和3年10月22日 ○令和3年度 第3回理事会
開催場所 : 日本美術院
議事事項 : 1. 新同人の推挙について
2. 役員報酬について
3. 第77回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望について
4. 第78回春の院展東京展の開催日程について
5. 春の院展神戸展(神戸阪急)の中止について
6. 春の院展巡回展(そごう・西武会場)の変更について
報告事項 : 1. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
出席等 : 決議に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席1名、監事出席1名

⑥令和4年2月18日 ○令和3年度 第4回理事会
開催場所 : 日本美術院
議事事項 : 1. 令和4年度事業計画及び同予算書について
2. 企画料の改定について
3. 入場料の改定について
4. 令和4年度同人新作品展の開催計画について
5. 運営会議の検討事項について
6. 運営会議委員の改選について
7. 大臣賞、東京都知事賞の外部選考委員の改選について
8. 奨学金候補者選抜推薦者、選考委員の改選について
9. 再興院展(北九州展)の中止について
10. 著作権譲渡契約について
11. 事務職員の人事について
12. 定時評議員会(令和4年度)の開催について
13. その他
報告事項 : 1. 運営体制強化のための担当理事の選任について
2. 名都美術館への横山大観「ある日の太平洋(下図)」貸出に
3. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
出席等 : 決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

(2) 評議員会

①令和3年6月18日 ○令和3年度 第1回評議員会
開催場所 : 日本美術院
議事事項 : 1. 議事録署名人の選出について
2. 令和2年度事業報告書及び決算書について
3. 理事の欠員補充について
出席等 : 決議に必要な出席評議員の数4名、出席7名、監事出席1名、理事出席1名

(3) 同人会

①令和3年6月18日 ○令和3年度 第1回同人会
開催場所 : 日本美術院
議事事項 : 1. 研究会員の詮衡について
2. 令和3年度第2回同人新作品展について
3. 再興第106回院展について

- 報告事項 : 1. 令和2年度事業報告書及び決算書について
2. 第40回日本美術院奨学金受給者について
3. 理事及び評議員の選任について
4. 宮廻正明同人の処分解除について
5. 前田青邨顕彰中村奨学会の解散に伴う残余財産の帰属について
6. 第76回春の院展大阪展(会場:阪急うめだ本店)の中止について
7. 第10回中村賞奨学金受給者選考結果について
8. 令和9年度事業報告書及び決算書について
9. 巡回展における下図等の展示依頼への対応について
10. 日本美術院主催研究会について
11. 図録・HPリニューアル検討委員会について
- 出席等 : 決議に必要な出席同人の数19名、出席25名、欠席12名

②令和3年8月18日 ○令和3年度 第2回同人会

- 開催場所 : 東京都美術館
議事事項 : 1. 再興第106回院展について
2. 8月19日以降の日程について
- 出席等 : 決議に必要な出席同人の数19名、出席27名、欠席10名

③令和3年10月22日 ○令和3年度 第3回同人会

- 開催場所 : 日本美術院
議事事項 : 1. 新同人の推挙について
2. 研究会員の詮衡について
3. 第77回春の院展について
4. 院展審査方法(受賞作品推薦投票数)について
5. 令和4年1月発行の諸員名簿について
- 報告事項 : 1. 令和3年度第2回同人新作品展の開催について
2. 第77回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望事項(案)について
3. 第78回東京展の開催日程について
4. 春の院展・神戸展(神戸阪急)の中止について
5. 春の院展・巡回(そごう・西武会場)の変更について
6. 再興第105回院展(全体)入場者調査表について
7. 再興第105回院展(全体)印刷物売上表について
8. 再興第106回院展(東京展)入場者調査表について
9. 再興第106回院展(東京展)印刷物売上表について
10. 再興第106回院展(京都展)入場者調査表について
11. 再興第106回院展(京都展)印刷物売上表について
- 出席等 : 決議に必要な出席同人の数19名、出席27名、欠席10名

④令和4年2月18日 ○令和3年度 第4回同人会

- 開催場所 : 日本美術院
議事事項 : 1. 第41回奨学金受賞者の推薦について
2. 研究会員の詮衡について
3. 第77回春の院展について
4. 再興第107回院展について
5. 令和4年度同人新作品展展示会の開催要領について
6. その他
- 報告事項 : 1. 令和4年度事業計画及び同予算書について
2. 企画料及び入場料の改定について
3. 再興院展北九州展の中止について
4. 運営会議の検討事項について
5. 運営体制強化のための担当理事の選任について
6. 各種委員の改選について
7. 名都美術館への横山大観「ある日の太平洋(下図)」貸出について
8. 企画料及び入場料の改定について
9. 第76回春の院展入場者調査表について
10. 第76回春の院展印刷物売上実績表について
- 出席等 : 決議に必要な出席同人の数19名、出席26名、欠席11名

⑤令和4年3月8日 ○令和3年度 第5回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 再興第107回院展募集要項について
2. 第77回春の院展について

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席33名、欠席4名

4. 許可、認可及び承認に関する事項 「該当なし」

5. 契約に関する事項 「該当なし」

6. 寄附に関する事項

(1) 寄附金支出

寄附の目的	寄附の相手方	金額	備考
国華清話会に対する助成	国華清話会	500,000円	日本・東洋の古美術研究誌「国華」は明治22年、岡倉天心先生らが創刊したもので、その学術的重要性は世界的な評価を得ている。この「国華」の続刊に資するため。

(2) 寄附金受入

寄附の目的	寄附者	金額	備考
事業運営経費	日本美術院換価委員会	26,458,183円	調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。
	佐藤八生	10,000円	
	日本美術商事(株)	30,000円	
	江戸千家不白会	10,000円	
	北田克己	100,000円	
再興第106回院展奨励賞の副賞用	(株)三越伊勢丹	500,000円	再興院展奨励賞の副賞として受賞者に交付している。
	(株)高島屋	500,000円	
	(株)大丸松坂屋	500,000円	
	(株)そごう西武	500,000円	
若手芸術家育成経費等	(財)前田青邨顕彰中村奨学会	3,000,000円	解散に伴う残余財産受入
	合計	31,608,183円	

7. 賛助会員会費に関する事項

賛助会員会費		金額	備考
賛助会員会費	法人(88社)	11,499,230円	調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。
	個人(784名)	8,050,000円	
	合計	19,549,230円	

8. 主務官庁指示に関する事項 「該当なし」

9. その他の重要事項

(1) 令和3年度第1回同人新作品展の開催

令和3年5月24日から5月30日の7日間、同人の新作(6号)30点を日本美術院1階大広間において展示した。入場者は80名で、前回2年度第3回より13名の減であった。

(2) 令和3年度第2回同人新作品展の開催

令和3年11月8日から11月14日の7日間、同人の新作(6号)33点を日本美術院1階大広間において展示した。入場者は151名で、前回第1回より71名の増であった。

(3) 天心霊社の例祭

新型コロナウイルス感染防止のため、中止となった。